



災害のシミュレーション結果をコンピューターグラフィックスで再現した「災害シミュレーション映像」。町民の安全を確保できるよう、防災体制・防災基盤の整備を進めます。

ることから、優先的に進められる北海道横断自動車道阿寒・釧路西間の事業完了を見通しつつ、早期の整備促進に向けて、関係機関に対する積極的な要請活動を展開します。

また、災害時の緊急避難場所と接続する重要な路線である町道栄橋通りは、本年度中の供用開始に向けて整備を進めます。

老朽化が著しい町営バスターミナルの改築は、JR白糠駅舎との合築に向けた協議を継続するとともに、交通アクセスの確保や駅前を中心とした賑わい創出を図るため、まちの新たな拠点となる複合

施設の整備に向けて、具体的な検討を進めます。

公営住宅は、空室となつている住宅の有効活用を図るため、低所得単身者の入居を可能とするよう、入居者資格の緩和措置を講じます。

防災体制の整備は、災害時に正確な情報を確実に伝達し、速やかな避難行動を促すため、町内全世帯に対する戸別受信機の整備を実施します。

防災意識の向上につきましては、政府が日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震モデルを公表したことを受け、北海道が津波浸水想定図を今年度中に策定する方針を示していることから、公表後、速やかに津波災害の啓発などの対応を図ります。

また、防災基盤の整備につきましては、さまざまな自然災害に対する町民の安全・安心を確保するため、河川の保全や治山事業などの推進と合わせ、国道38号恋間館付近から町道釧路空港短絡線へ抜ける避難路の整備の実現に向け、関係機関に対しての積極的な要請活動に努めます。

消防体制の施設整備は、本年10月の供用開始に向け、消防庁舎の外構工事を進めるとともに、消防団装備の充実を図り、地域消防力



老朽化が著しい町営バスターミナル。まちの新たな拠点となる複合施設の整備に向け、検討を進めます。

の強化に努めます。

ICTインフラの整備は、光ファイバなどの超高速ブロードバンド環境がこれからの産業や生活の基盤をなすものであり、今般の新型コロナウイルス感染症対策においてもその必要性が明確となったことを踏まえ、未整備地域における高速通信環境の整備に向け、必要な調査・検討を進めます。

- ① 国道・道道の整備促進要請
- ② 町道の整備促進
- ③ 橋梁長寿命化修繕計画の推進
- ④ 農道・林道の整備
- ⑤ 海岸保全の整備促進要請
- ⑥ 地域公共交通ネットワークの確保・維持



10月の供用開始に向けて、外構工事を行っている消防庁舎。

## 2 美しく快適な環境づくり

世界的な環境問題として挙げられる地球温暖化に対しては、各国でさまざまな対策が講じられており、気候変動がもたらしている自

- ⑦ 町営バスターミナル・駅前広場の整備に向けた取組の推進
- ⑧ 公営住宅等長寿命化計画の推進
- ⑨ 交通安全思想の普及啓発
- ⑩ 防災体制の充実強化の推進
- ⑪ 消防庁舎の移転改築の推進
- ⑫ ICTインフラ整備に向けた調査・検討の推進